

かわまち交流館

あすから
利用開始

29日まで 多彩な記念イベント

延岡の「食」の拠点施設「かわまち交流館」が、29日から、利用開始となり、29

日までの2日間、開館記念イベント「のぼるくんかわまちフェスタ」が同館と周辺広場で開催される。地元食材を使ったグルメや、魚のつかみ取りなど各種イベントが楽しめる。時間は午前10時から午後4時。

日までの2日間、開館記念イベントでは、行勝地鶏の手羽先炭火焼きや川原トマトとアボカドの Pasta など、延岡産の食材を使ったさまざまなメニューが楽しめる「かわまち食堂」のほか、のぼるくんフェスタのマスケットキャラクター「のぼるくん」のぬり絵や貯金箱作りなどを行う「のぼるーむ」なども予定している。

広場では「わんぱくのぼる」(1回200円)や「のぼるくんポルタリング」(同)、「みつばちパウンス」(10分300円)などの遊具を楽しむ。ミニ移動図書館もある。また、魚のつかみ取り(500円)は午後0時半

スタートだが、魚がなくなり次第終了する。

28日は「のぼるくん」のほかに、門川町の「かとうぴー&がわっぴー」、美郷町の「みさとちゃん」も応援に来る。雨天・強風時は交流館内のイベントのみ開催する。

あゆやかな食事棟のあった場所に新築された同館は木造2階建て、延べ床面積は約593平方メートル。1階には大広間や窓際席、厨房(ちゅうぼう)、待合室など、2階には広間などがあり、客席数は最大220席。昨年11月に着工し、3月末に完成した。事業費は約1億7700万円。

イベントの問い合わせは延岡観光協会(☎延岡29-2-1555)。利用申請などは同(☎延岡20-5010)。

海幸丼をどうぞ

延岡市「うみウララ」エリアの北浦・南浦で、きょうから、地元の新鮮な海産物をふんだんに使った「うみウララ地どれ海幸丼」の提供が始まった。エリア内の飲食店7店舗が参加、それぞれオリジナルの豪華丼を提供する。6月30日まで。前日までに予約が必要。ひむか遊パークうみ



海幸丼をアピールする鍋田さん(左)と佐藤さん

ウララ推進委員会(委員長・甲斐繁男須美江家族旅行村村長)が主催する初挑戦の企画。「地域の食資源を生かし、多くの人にこのエリアに足を運んでもらいたい」と地域活性化を目的にしており、採算性は度外視した。参加7店舗が互いに情報交換しながら内容がかぶらないように調

整。食べ回っても食べ飽きない海鮮丼づくりを目指した」と中心になって企画に取り組んだ一人、臨港の鍋田荘(鍋田さん)と佐藤英治(佐藤さん)は「食卓(食卓)はフェア前日の26日、同市役所を訪れ、読谷山洋司市長に海幸丼を披露した。『ネタの大きさにこだわった』という佐藤さんのほか、ブランドカンパチやアオアジ、マグロなどが大きな切り身で盛り付けられ、鍋田さんのはブランドカンパチやエビ、カツ

店舗が一つになったのが素晴らしい。私たちも協力したい」と激励した。料金は海鮮丼に汁物と小鉢1〜2品が付いて1500〜1800円(税込み)。問い合わせ・予約は各店へ。連絡先は次の通り。

【北浦】
潮香ノ宿高平屋(延岡45・3191)▽

うみウララ 6月30日まで

活性化へ7店が参加 採算度外視の初企画

延岡

味わる。の仕入れによって変わり、常に新鮮な逸品を

オなどのほか「自家製の干物を生かしたかった」と焼き魚が入っているのが特徴。試食した読谷山市長は「脂も乗っていてボリュームがある。こんな値段でいいんですか」と思うほどお得感がすごい」と舌鼓を打ち、「うみウララ地区がどれだけ人を引きつけるかが、延岡がどれだけ潤うかにつながる。7

- 料理処丸金(延岡45・2067)▽お食事処さとう(延岡45・2077)▽民宿・お食事処臨港(延岡45・3571)▽道の駅北浦レストラン海鮮館(延岡45・3811)
- 【南浦】
民宿紺碧・須美江(延岡43・0211)▽板前のまかない料理旬肴(しゅんき)熊野江(延岡43・0020)